



SEASIDE PARK

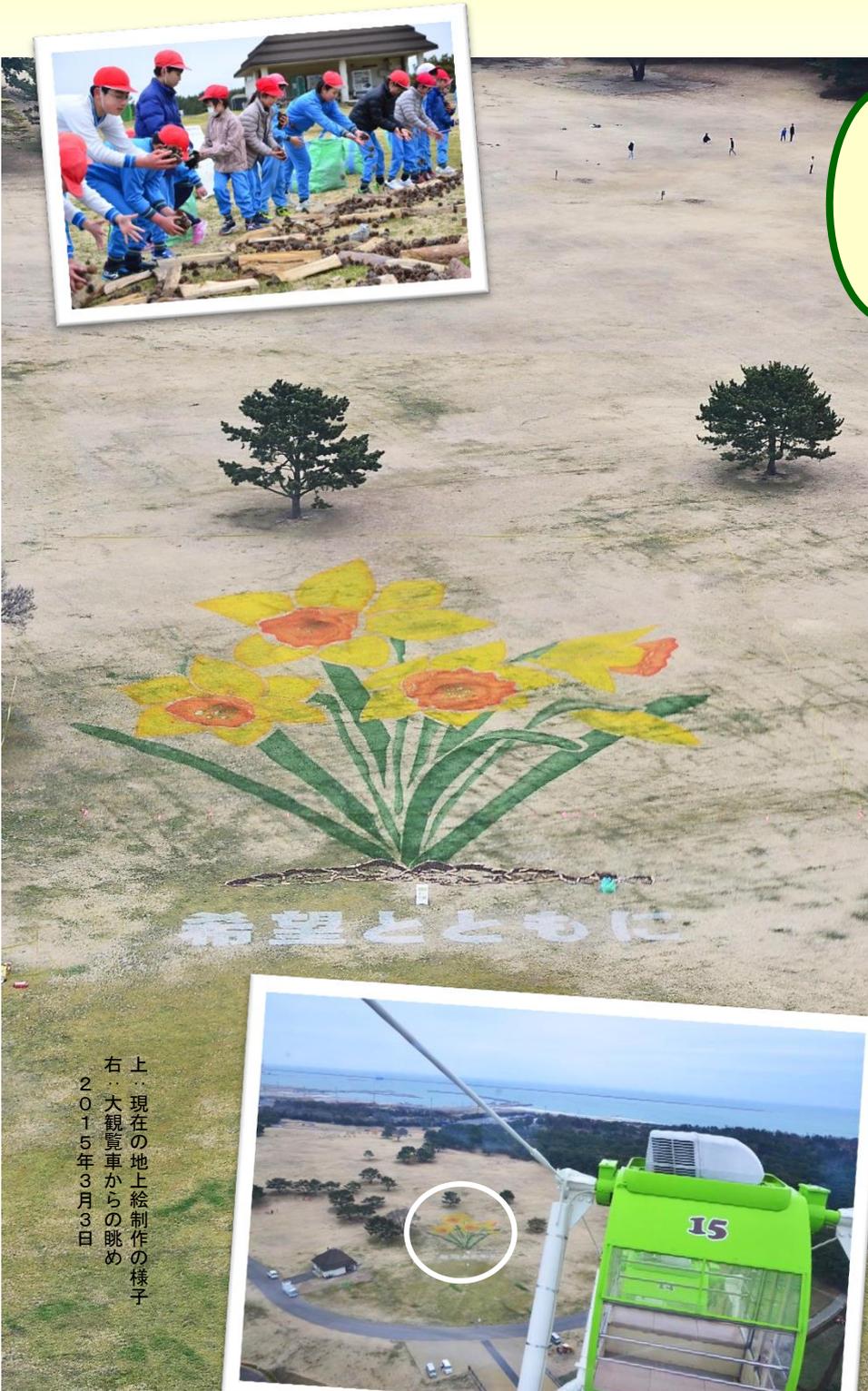
ひたち海浜公園から発信する旬な情報

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

2015年3月3日

H26年度 VOL. 50



初登場!

地上絵

大草原の

春の訪れとともに、
希望の大輪が咲く…

2011年3月に発生した東日本大震災発生から、間もなく4年が経とうとしています。国営ひたち海浜公園では、3月7日(土)～22日(日)の期間、更なる復興への願いを込めて「大草原の地上絵」を初展示します。

2015年3月3日(火)～6日(金)の期間、来園されたお客様にスイセンの根本の部分に松ぼっくりを敷き詰めていただき、地上絵を完成させます。

春の訪れとともに登場する巨大なスイセンの地上絵。皆様の手で、未来へと花開く希望の大輪を咲かせましょう!

上…現在の地上絵制作の様子
右…大観覧車からの眺め
2015年3月3日

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

↑1/26よりURLが変わりました

茨城県が実施する「第9回いばらきイメージアップ大賞」において、「ひたち海浜公園 ネモフィラ・コキアの絶景」が“大賞”を受賞しました!

大草原の地上絵

展示期間:3月7日(土)~22日(日)

※仕上げ期間:3月3日(火)~6日(金)

デザインについて

デザインテーマは、“希望の象徴” **スイセン**。4輪の花と1つの蕾は、東日本大震災から4年の時を重ね、5年目となることを表現しています。また、復興を祈念して、来園された皆様には、スイセンを支える土の部分に、園内で採れた松ぼっくりを敷き詰めていただき、この絵を完成させます。

「希望とともに」という言葉には、これからも続く復興への道のりを「希望を持って一歩ずつ歩んでいく」という思いを込めました。

担当者からひとこと

今回初めての取り組みとなる「大草原の地上絵」。そのテーマとして選んだのが、“希望の象徴”として知られるスイセンです。あたたかい“光”のように差し込む“希望”、その“光”は植物の成長に不可欠な要素でもあります。

東日本大震災から4年、被災地では現在も復興活動が続いています。「震災の影響は未だ続いている」ということを受けとめながら、更なる復興への祈念とともに、松ぼっくりをひとつひとつ“光”を注ぎ込むように置いていただければ幸いです。

「大草原の地上絵」詳細



縦: 60m ※スイセンのみは55m

地上絵制作の様子
2015年3月3日

希望とともに

◆材料について
花・茎・文字: 芝生用塗料、土: 松ぼっくり

ひたち海浜公園とスイセン

当園では、開園当時からスイセンの花修景に力を注いでおり、毎年、多くのお客様にお楽しみいただいております。

また、2011年の東日本大震災の際には、復興支援のひとつとして、震災の影響で卒業式を飾る花が入手できないひたちなか市内の小学校・幼稚園・保育園に、スイセンの切り花をプレゼントしました。

東日本大震災復興支援について、詳しくはHPをご覧ください。



震災直後に実施した
スイセン切り花提供の様子
2011年3月

～春の花だより～ 「スイセンの丘」を中心に、春の花々が咲き始めています。

早咲きスイセン ラインベルト
アーリーセンセーション



「スイセンの丘」南西側斜面で現在5分咲き

寒咲きナノハナ 寒咲きナノハナ・カラシナ
ナノハナの3種混合



「スイセンの丘」北東側斜面で現在見頃(7分咲き)

プレスリリース **次号予告**

早咲きスイセンまもなく見頃!